

海洋ごみの回収、分別、再生、体験などとおして 海洋プラスチック問題を学ぶ

こどもたちの
自由研究
にもオススメ

STEP 1 体験する



ビーチクリーン

PLA PLA ここがスゴイ!

- 海洋プラスチック専門施設として世界初
- ZEB認証取得 県内公共施設で初
- 施設の年間消費エネルギーが **実質ゼロ**

STEP 5 自分ごと化行動変容へ



ディスカッション
ワークショップ

STEP 2 海洋プラスチック問題を学ぶ



展示ラボの見学

STEP 3 再生過程を見学する



再生ラボの見学

STEP 4 資源の大切さを体感する



アップサイクル体験

PLA PLAを起点に広がる挑戦

大学との共同研究

九州大学や早稲田大学と連携し、波戸岬のマイクロプラスチックの調査・研究を進める



世界へ発信・提言



国際シンポジウムや国内外で開かれる学会などで、PLA PLAの挑戦を世界へ届けていく

海洋プラスチックを社会へ還元

波戸岬の海岸で回収した海洋プラスチックを、イスやテーブルに再生・販売することで、新たな価値を生み出す



世界の唐津へ。 次々と動き出す「唐津プロジェクト」

唐津の海から、未来を変える!

世界初の体験型施設「PLA PLA」オープン

県が2020年度から進める「唐津プロジェクト」。自然や歴史、文化など、唐津・玄海エリアに根付く地域資源に改めて光を当て、磨き上げる取り組みです。

今年度、この「唐津プロジェクト」が次々と動き出しています。なかでも注目は、6月7日に波戸岬にオープンした「PLA PLA」。海洋プラスチック問題に特化した、教育・体験・交流の機能をもつ世界初の施設です。「PLA PLA」は、一人ひとりが海洋プラスチック問題を知り、考え、行動へつなげるきっかけづくりの場所。世界の海洋ごみが波戸岬に流れ着いている——。この現実を受け止め、ともに「未来」を変えましょう。



九州北部の玄界灘沿岸は、対馬海流や季節風の影響で国内外から海洋ごみが漂着する「ホットスポット」です。波戸岬の海岸には、近隣諸国の言葉が書かれたペットボトルやブイが絶え間なく流れ着いています。海洋プラスチック問題は、生態系・漁業・観光などに深刻な影響を及ぼしている地球規模の課題です。県は、世界の国・地域と連携し、課題の解決を目指す拠点として、ここに唐津にPLA PLAを開設しました。



世界海洋プラスチック プランニングセンター

プラプラ
(愛称: PLA PLA)

場所	佐賀県唐津市鎮西町波戸720-1
開館時間	9:00~17:00
休館日	毎週水曜日 (ただし、祝日の場合は翌日)
入館料	無料(体験は有料・要予約)
駐車場	あり(波戸岬第一駐車場)



ホームページ



うみ²

海洋プラスチック問題とその対策を分かりやすく発信する拠点を国内外に先駆けて設置いただけることに、心から敬意を表します。国内外からたくさんの方々が訪れ、気づきや行動に繋がっていくことを心から期待しております。



ひろふみ
石原 宏高環境大臣

— PLA PLA オープニングセレモニー開催 —

陸地よりも広い海をもつトンガにとって、海は持続可能な発展と繁栄を支える生命線です。佐賀県が取り組みを力強く進めておられることは本当に素晴らしい、トンガもその経験や知見を自国に生かしたいと考えています。今後の連携を楽しみにしています。



駐日トンガ王国大使館
デヴィタ・スカ・マンギン
特命全権大使



6月7日に開催したオープニングセレモニーには、山口祥義佐賀県知事をはじめ、石原環境大臣や8か国の海外代表、地元の早稲田佐賀高等学校サスティナ部の学生代表などが出席し、国や地域、世代を超えて、「佐賀の岬から世界の海を取り戻す」という想いを一つにしました。